

<東海北陸> 石川工業高等専門学校

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

石川工業高等専門学校 HP : [石川高専 HP](#)

*アクセス(図 1 は石川高専 HP より引用)

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条



図 1 アクセスマップ

*特色(一部文章は石川高専 HP より引用)

- ・昭和 40 年 (1965 年) に創立
- ・本科 4 年生から専攻科 2 年生までの 4 年間を対象として, JABEE (日本技術者教育認定機構) 認定教育プログラムである「創造工学プログラム」を設定
- ・クサビ形教育(他高専で紹介済みなので内容は割愛)を導入
- ・本科は機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、環境都市工学科、建築学科の 5 学科編成
- ・専攻科は電子機械工学専攻、環境建設工学専攻の 2 専攻編成

*教育理念・目標(一部文章は石川高専 HP より引用)

基本理念

人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者育成のための高等教育機関

教育理念

1. 豊かな教養と誠実な人間性を育む教育
2. 創造的な能力と意欲を育む教育
3. 高度な科学技術に対応できる実践力を育む教育
4. 地域社会への関心と国際的な視野を育む教育

養成すべき人材像

1. 幅広い視野を持ち、国際社会や地球環境を理解できる技術者
2. 社会的責任感と技術者としての倫理観を備えた技術者
3. 問題や課題を完遂するための気概と指導力、協調性を備えた技術者
4. 好奇心や目的意識・職業意識が旺盛で、十分な意欲を持つ技術者
5. 確実な基礎学力と体験や実技を通して備えた実践力を持つ技術者
6. 自ら問題を解決する能力（事象の理解、問題の発見、課題の設定・解決）を持つ技術者
7. 学習や研究の成果を論理的に記述し、発表し、討議する能力を持つ技術者
8. 学んだ知識を柔軟に活用できる応用力を持つ技術者
9. 地域との交流を通して積極的な社会参加の意識を持つ技術者
10. 相互理解の上に立ったコミュニケーション能力を持つ技術者

目標

【本科（準学士課程）の学習目標】

1. 技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につける。
2. 意欲的・実践的に、ものづくりや課題の解決に最後まで取り組むことができる。
3. 幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できる。
4. 自分の考えを正しく表現し、公正に意見を交換することができる。

機械工学科

材料、エネルギー、計測制御、生産加工などの知識と技術を習得し、広い分野における「ものづくり」に応用することができる。

電気工学科

エネルギー、エレクトロニクス、制御、通信、コンピュータなどの知識と技術を習得し、「ものづくり」や課題の解決に応用できる。

電子情報工学科

情報・電子・通信などの基礎知識と技術を習得し、システム設計・開発を行うことができる。

環境都市工学科

暮らしを支える施設の整備，防災，環境保全に関する知識を習得し，より良い都市づくりを目的とした課題に対処することができる。

建築学科

建築を取りまく文化や技術の基礎知識を習得し，住生活から地域・都市環境にわたる建築への様々な課題の解決に応用できる。

【専攻科課程の学習目標】

1. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り，たゆまず努力することができる。
2. 問題を発見・提起し，修得した技術に関する知識や理論によって解析し，解決までできる。
3. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち，社会や自然環境に配慮できる。
4. 実践的な体験をとおして，地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる。
5. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ，論理的な記述・発表ができる。

電子機械工学専攻

機械，電気，電子，情報などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し，修得した技術を活用することができる。

環境建設工学専攻

快適な生活空間を設計する居住計画，都市計画などの専門分野に関する生活・住環境に優しい技術と専門以外の幅広い知識を修得し，修得した技術を活用することができる。

*アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針) (一部文章は石川高専 HP より引用)

本科のアドミッションポリシー (入学者受け入れの方針)

本校では，教養と工学の基礎を身につけ，創造的な能力，高度な科学技術に対応できる実践力，地域社会への関心と国際的な視野を有する人材を育成している。

アドミッションポリシー

入学者として次のような学生を求める。

1. 中学校で学んだことを身につけている人
2. 特に、数学・理科の基礎学力がある人

また、本科4年次編入学の場合、入学者として次のような学生を求める。

1. 工学の基礎を身につけている人
2. 向上心を持ち、より高い目標に向けて努力する人
3. 自主性と協調性を持ち、社会貢献する意欲のある人
- 4.

求める学生像：全学科共通

1. ものづくりに関心があり、様々な課題に意欲を持って取り組む人
2. 社会のルールを守り、向上心を持って学校生活を送る人
3. 将来、技術者として社会の発展に貢献したい人

それぞれの学科が求める学生像

機械工学科

ものづくりに興味があり、創造力豊かな技術者になりたい人
自動車・飛行機・ロボットなどの機械やシステムに関心がある人
機械の仕事を通して、エネルギー・環境・福祉などの分野で社会に貢献したい人

電気工学科

ロボット・コンピュータなどのしくみに興味がある人
エネルギー・通信・ITなどの生活を支える技術に関心がある人
最先端技術に関心があり、社会の発展に貢献したい人

電子情報工学科

コンピュータの原理やプログラミングなどに興味がある人
情報・電子・通信の融合技術を身につけたい人
最先端の情報通信技術で社会に貢献したい人

環境都市工学科

道路・橋・空港・上下水道などの都市づくりに興味がある人
都市づくりを通して地域社会に貢献したい人
くらしと自然を守る都市づくりに熱意がもてる人

建築学科

建築の材料や構造、環境やデザインに興味がある人

建築を作る過程（設計・施工・管理）に関心がある人

建築を通して生活環境づくりに貢献したい人

入学者選抜の実施方法

1. 推薦による選抜

推薦書，調査書および適性検査（数学）・面接の結果を総合して判定する。

2. 学力検査による選抜

学力検査の成績および調査書をもとに総合的に判定する。

学力検査は，理科，英語，数学，国語の4教科について筆記試験（マークシート方式）を行い，各教科100点満点の合計400点満点とする。

1教科でも受検しないと失格（不合格）になる。

※入学者選抜については，受検する年度用の「学生募集要項」により確認してください。

専攻科のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

専攻科は，高等専門学校における教育の基礎の上に，より高度な専門知識と技術を教授して，先端技術にも対応できる創造的な技術開発能力を備え，幅広い分野で活躍できる研究開発型技術者の育成を目的としている。

アドミッションポリシー

入学者として次のような学生を求める。

1. 高等専門学校などにおいて工学の基礎を修得した人
2. 幅広い分野の工学知識について学習する意欲のある人
3. 国際的に通用する技術者として，社会貢献する意欲のある人

入学者選抜の実施方法

1. 推薦による選抜

入学者の選抜は，面接，出身学校長から提出された推薦書，調査書および TOEIC のスコアを総合判定して行う。

2. 学力検査による選抜

入学者の選抜は，学力検査，出身学校長から提出された調査書，面接を総合判定して行う。

学力検査は，数学及び専門科目について筆記試験を行い，英語については出願時に提出された， TOEIC のスコアにより評価する。

3. 社会人特別選抜

入学者の選抜は，面接（業務経験等の概要又は専門科目に関すること），出身学校長から提出された調査書及び TOEIC のスコアを総合判定して行う。

※入学者選抜については、受検する年度用の「学生募集要項」により確認してください。

*JABEE 認定(一部文章及び図 2 は石川高専 HP より引用)

平成 17 年 4 月に認定申請を行い、同 12 月実地審査を受審した。平成 18 年 5 月にこの「創造工学プログラム」のうち「複合工学修得コース」が JABEE 基準に適合していることが認定された。

石川高専では、本科 5 年間および専攻科 2 年間の教育プログラムに加え、本科 4 年から専攻科 2 年次までの 4 年間を対象とした教育プログラムが設定され、これを創造工学プログラムと呼んでいる。この教育プログラムは、複数の工学の知識を修得し幅広い考察ができる技術者を育成するための「複合工学修得コース」と、専門工学を探究し深い考察ができる技術者を育成するための「専門工学探究コース」で構成されている。このうち複合工学修得コースは、JABEE（日本技術者教育認定機構）より国際的に通用する技術者教育プログラムとして認定を受けており、修了生は技術士の一次試験を免除され、技術士補となる資格が与えられる。

創造工学プログラムの教育目標

【複合工学修得コース】

科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

(1) 基礎工学（設計システム、情報論理、材料バイオ、力学、社会技術）の科目を修得している。

(2) PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。

問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

(1) 学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。

(2) 数学（情報処理）・物理による理論的解析能力がある。

国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

(1) 国際社会を多面的に考えることができる。

(2) 外国語によるコミュニケーション能力がある。

(3) 技術者倫理を修得している。

実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

(1) 地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。

(2) 実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。

チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

- (1) 日本語による論理的な記述，コミュニケーションができる。
 - (2) 地道に行った研究成果を口頭発表できる。
 - (3) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめることができる。
- いくつかの工学の知識を修得し，幅広い考察ができる技術者を育成する。
- (1) 申請学士領域以外の工学の知識を修得し，幅広い考察ができる。

【専門工学探究コース】

科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り，たゆまず努力する技術者を育成する。

- (1) 基礎工学（設計システム，情報論理，材料バイオ，力学，社会技術）の科目を修得している。
- (2) PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。

問題を発見・提起し，修得した技術に関する知識や理論によって解析し，解決までできる技術者を育成する。

- (1) 学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。
- (2) 数学（情報処理）・物理による理論的解析能力がある。

国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち，社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

- (1) 国際社会を多面的に考えることができる。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力がある。
- (3) 技術者倫理を修得している。

実践的な体験をとおして，地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

- (1) 地域企業などでのインターンシップをとおして，実務上の問題点と解決法の現状を体得している。
- (2) 実務上の問題点として，いろいろな環境技術について検討できる。

チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ，論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

- (1) 日本語による論理的な記述，コミュニケーションができる。
- (2) 地道に行った研究成果を口頭発表できる。
- (3) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめることができる。

専門工学を探究し，深い考察ができる技術者を育成する。

- (1) 申請学士領域の工学を探究し，深い考察ができる。

創造工学プログラムと本科・専攻科との対応

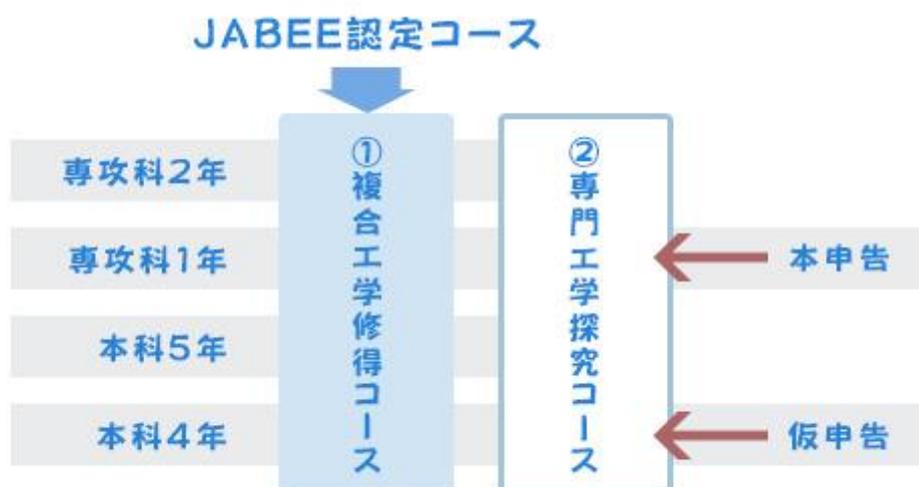


図2 創造工学プログラムと本科・専攻科との対応

本申告におけるコース必要条件

① 複合工学修得コース

- 幅広い工学の知識を修得することを目的としていること。
- 創造工学プログラムの本科の指定科目を必修科目を含めて 62 単位以上修得し、さらにそれらの成績が全て 60 点以上であること。

② 専門工学探究コース

- 専門工学のみを深く探究することを目的としていること。
- 創造工学プログラムの本科指定科目を 62 単位以上修得していること。

プログラム修了における必要条件

- 専攻科修了条件を全て満足していること。
- コース別達成度評価項目を満足していること。

以上の条件に加えて、各コースにおいて次の条件が必要である。

① 複合工学修得コース

- 創造工学プログラム達成度評価 12 項目を全て満足していること。

② 専門工学探究コース

- 創造工学プログラム達成度評価 12 項目中 10 項目以上を満足していること。

その他

- * ①複合工学修得コース修了者は学士を取得すれば JABEE 認定プログラム修了者となり、学士が取得できなければ単なる専攻科修了者となる。
- * JABEE 認定プログラム修了者は技術士一次試験免除となる。
- * ②専門工学探究コースは、社会人特別選抜による入学者等で JABEE 修了を希望し

ない者（あるいは本科において JABEE 合格科目が必要数に満たないが専攻科修了を希望する者）等が対象となる。

- * 複合工学修得コースを申告した者で専門工学探究コースへの変更を希望する場合は、専攻科長が認めた場合に限り、専攻科 2 年進級時において専門工学探究コースへの変更を認めることがある。

*入試形態(URLは石川高専 HP より引用)

[令和 3 年度学生募集要項](#)

[令和 3 年度 4 年次編入学募集要項](#)

[令和 3 年度 専攻科募集要項](#)

*試験状況及び偏差値や倍率(URLは石川高専 HP より引用)

(本科 偏差値 66)

[入学志願者数・入学者数\(本科・専攻科\)](#)

[入学志願者数・入学者数\(本科 4 年次編入学\)](#)

*ディプロマポリシー(卒業・修了認定方針) (一部文章は石川高専 HP より引用)

本科のディプロマポリシー (卒業認定の方針)

1 本校の目的

本校は、教育基本法 の精神にのっとり、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な人材を育成することを目的としている。

2 学習目標

全学科共通の学習目標

- ・技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につける。
- ・意欲的・実践的に、ものづくりや課題の解決に最後まで取り組むことができる。
- ・幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できる。
- ・自分の考えを正しく表現し、公正に意見を交換することができる。

各学科の学習目標

・機械工学科

材料、エネルギー、計測制御、生産加工などの知識と技術を習得し、広い分野における「ものづくり」に応用することができる。

・電気工学科

エネルギー、エレクトロニクス、制御、通信、コンピュータ等の知識と技術を習得し、「ものづくり」や課題の解決に応用できる。

- ・電子情報工学科
情報・電子・通信などの基礎知識と技術を習得し、システム設計・開発を行うことができる。
- ・環境都市工学科
暮らしを支える施設の整備，防災，環境保全に関する知識を習得し，より良い都市づくりを目的とした課題に対処することができる。
- ・建築学科
建築を取りまく文化や技術の基礎知識を習得し，住生活から地域・都市環境にわたる建築への様々な課題の解決に応用できる。

3 教育の特色

1. 機械工学科

機械工学科では，機械の動作原理や材料・構造・強さ・しくみを座学・実験・実習を通し，深く理解できるようカリキュラムが設定されている。さらに，修得した知識や技術を活用して，独創的なアイデアを発想し，設計・製作・評価までを自ら行うことのできる技術者を育てている。

2. 電気工学科

電気工学科では，電気・電子工学をはじめ，エネルギー，通信，半導体デバイス，情報など広い分野にわたる専門的「知識」と「技術」を身に付け，こういった分野で活躍できる技術者を育成することを目指している。

3. 電子情報工学科

電子情報工学科では，電子工学，情報工学，通信工学の豊富な知識をもちながら，これらを融合した技術を駆使しシステム思考のできる人材を育成すると同時に，人や環境も視野に入れた未来志向の電子情報工学技術者を育てることを目指している。

4. 環境都市工学科

環境都市工学科では，私たちの生活に大切な都市施設などの整備に関する技術を学ぶことを目的としている。すなわち，道路や橋，港湾などの公共施設の建設技術を身につけ，さらに，自然環境との調和やうるおいのある生活環境も考えることのできる広い視野を持った技術者の育成を目指している。

5. 建築学科

建築学科では，幅広い知識と豊かな創造力をもつ建築技術者を養成することを目指し，専門の基礎科目を重視する一方，計画・構造・環境のコンピュータ処理技術の

ほか、新しい時代への対応を学ぶなど、幅広い知識を習得できるよう力を注いでいる。

4 本科の卒業要件

卒業の判定については、学則第 35 条(※)で定めるとおり全学年の課程を修了した者を卒業と認めますが、具体的には、以下のすべての要件を満たしていることが条件となる。

なお、必修科目の修得だけでも学習目標は達成されるようにカリキュラムを編成していますので、卒業認定を以て本校が掲げる全学科共通の学習目標及び各学科の学習目標を十分達成したと認めることができる。

卒業要件

1. 各科目の年間授業時間数の 4 分の 3 以上出席していること。
ただし、病気・事故等やむを得ない事由によると認められた長期欠席の場合は、卒業の基準が緩和される。
2. 最終学年まで修得すべき科目の単位を修得していること。
3. 卒業研究の評価が合格であること。
4. 学校行事への出席が良好であること。

(※) 学則一部抜粋

第 35 条 全学年の課程を修了した者について、校長は、所定の卒業証書を授与する。

2 本校を卒業した者は、準学士と称することができる。

専攻科のディプロマポリシー（修了認定の方針）

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な専門知識と技術を教授して、先端技術にも対応できる創造的な技術開発能力を備え、幅広い分野で活躍できる研究開発型技術者の育成を目的としている。

修了判定にあつては、学則第 54 条(※)で定める要件を満たした者を修了と認定する。

なお、修了時には本校が掲げる専攻科課程共通の学習目標及び電子機械工学専攻、環境建設工学専攻が掲げるそれぞれの学習目標を達成できるよう授業科目が設定されているので、修了認定を以てそれを達成したと認めることができる。

(※) 学則一部抜粋

第 54 条 学生は、専攻科に 2 年以上在学し所定の授業科目を履修し、62 単位以上を修得するものとする。

- 2 学生は、指定された創造工学プログラムの修了要件をすべて満たさなければならない。
- 3 校長は、前 2 項の要件を満たした者に対し修了を認定し、修了証書を授与する。

専攻科課程の学習目標

1. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力することができる。
2. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる。
3. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる。
4. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる。
5. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる。

電子機械工学専攻の学習目標

機械、電気、電子、情報などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができる。

環境建設工学専攻の学習目標

建設、環境、建築などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができる。

*カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）（一部文章は石川高専 HP より引用）

本科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1 教育課程編成の基本的な考え方

教育課程編成にあたっては、本校が掲げる全学科共通の学習目標及び各学科が掲げる学習目標に照らして、学生が必要な基礎学力や専門知識等を無理なく、また効率よく修得できるよう全体の授業科目数及び単位数を適切に配置している。

なお、授業科目には選択科目も設定されているが、必修科目の修得だけでも学習目標は達成されるように教育課程を編成しているので、卒業認定を以て学習目標を達成したと認めることができる。

2 科目構成と特別活動

本校の教育課程は、授業科目と特別活動から構成され、授業科目は一般科目と専門科目に大別される。一般科目は高等学校と同じ科目や大学の1・2年次で履修する科目に相当する授業科目から構成されており、専門の学問や技術を修得するために必要な基礎学力の養成と、社会人として必要な一般教養の修得を目標としている。

専門科目は各学科における基礎的な学問や技術、その応用に関する科目で、特に実験・実習・製図・卒業研究などを通じて、自主的で創造性豊かな技術者となるための資質を養

う。そのために、基礎的な専門科目は1学年から履修する。

また、特別活動は第1学年から第3学年で実施し、有意義な学生生活をおくるために必要な生活習慣を身につけ、さらに行事などを計画し、参加することによって根気強さ、協調性などを養うことを目標としている。

3 成績の評価

各科目の成績は、シラバスに基づき、平素の出席状況及び学習態度などを含めて総合的に評価する。1～3年次は100点法により50点以上、4～5年次は60点以上であれば合格となり所定の単位を修得できる。

なお成績はS・A・B・C・D・不可の評語で表示し、評点との関係は次のとおりである。ただし、授業科目又は履修形態等によっては、合格又は認定の評語とすることがある。

(1) 1～3年次

- S (評点 90 点以上)
- A (評点 80 点以上～90 点未満)
- B (評点 70 点以上～80 点未満)
- C (評点 60 点以上～70 点未満)
- D (評点 50 点以上～60 点未満)
- 不可 (評点 50 点未満)

(2) 4～5年次

- S (評点 90 点以上)
- A (評点 80 点以上～90 点未満)
- B (評点 70 点以上～80 点未満)
- C (評点 60 点以上～70 点未満)
- 不可 (評点 60 点未満)

専攻科のカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

1 教育課程編成の基本的な考え方

教育課程編成にあたっては、本校が掲げる専攻科課程の学習目標に照らして、学生が必要な学力や専門知識等を無理なく、また効率よく修得できるよう全体の授業科目数及び単位数を適切に配置している。

なお、修了時に修得すべき学習目標は満たすよう授業科目が設定されているので修了認定を以て学習目標の達成と認めることができる。

2 科目構成

専攻科の授業科目は、電子機械工学専攻、環境建設工学専攻の共通の一般科目及び専門共通科目と各専攻で異なる専門展開科目から構成されている。

なお、1年次には、専門共通科目に3か月のインターンシップを10単位の必修科目として設定している。これは、実体験を通じ企業が抱える課題や社会的課題に対処する能力、すなわち技術者としての基礎的能力を実務に活かせる応用力を身につけることを目的としています。

また、幅広い知識と技術を身につけ、より深い考察ができるようになることを目的に、実際の課題を通じて学習する創造工学演習、特別研究が設定されており、2年間にわたる専攻科カリキュラムのうち、多くの時間がこれらに充てられている。

3 成績の評価

シラバスに基づき、100点法により60点以上であれば合格となり所定の単位を修得できる。

なお成績はS・A・B・C・不可の評語で表示し、評点との関係は次のとおりである。ただし、授業科目又は履修形態等によっては、合格又は認定の評語とすることがある。

- S (評点 90 点以上)
- A (評点 80 点以上～90 点未満)
- B (評点 70 点以上～80 点未満)
- C (評点 60 点以上～70 点未満)
- 不可 (評点 60 点未満)

*卒業後の進路状況(令和元年度)(URL や一部文章及び表は石川高専 HP より引用)

卒業生及び修了者の進路状況

(本科卒業生 就職状況)

機械工学科

アイナックス稲本、旭化成、ANA ベースメンテナンステクニクス、石野製作所、EIZO、オリエンタルチエン工業、オリンパス、川崎重工業、花王、関西電力、キヤノン、京セラ、久世ベローズ工業所、グンゼ、コマツ、参天製薬、JR 西日本、JR 東海、ジェイ・バス、澁谷工業、SUBARU、セイコーエプソン、大同工業、ダイキン工業、ダイハツ工業、高松機械工業、中部電力、津田駒工業、DIC、東芝エレベータ、トランテックス、中村留精密工業、ナブテスコ、ニコン、ニッコー、パナソニック、ファナック、不二越、北陸電力、本田技研工業、マツダ、三菱重工業、三菱レイヨン、村田機械、村田製作所、ヤマハ発動機、ライオン、YKK ほか

電気工学科

北陸電力、 関西電力、 中部電力、 JR 西日本、 JR 東海、 北陸電気保安協会、 NHK、 NTT ファシリティーズ関西、 NTT フィールドテクノ、 ANA、 JXTG エネルギー、 SONY GM&O、 SUBARU、 YKK、 旭化成、 キヤノン、 コニカミノルタジャパン、 パナソニック AIS、 パナソニックアプライアンス、 セコム、 メンバーズ、 花王、 サントリー、 澁谷工業、 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋、 三菱重工業、 三菱電機ビルテクノサービス、 別川製作所、 キヤノンメディカルシステムズ、 アール・ビー・コントロールズ、 村田製作所、 石川サンケン、 キヤノンマーケティングジャパン、 ホクショー、 第一電機工業、 国立印刷局 ほか

電子情報工学科

NTT データ、 富士通、 EIZO、 NTT データ北陸、 管理工学研究所、 NEC ネットエスアイ、 エキサイト、 メンバーズ、 ドコモ・システムズ、 NTT ぷらら、 NHK、 NHK テクノロジーズ、 京セラコミュニケーションシステム、 トヨタシステムズ、 KDDI エンジニアリング、 NTT 東日本、 NTT フィールドテクノ、 NTT ネオメイト、 パナソニックシステムネットワークス開発研究所、 コスモサミット、 SRD、 ハイマックス、 アイフォーコム、 北陸通信ネットワーク、 金沢エンジニアリングシステムズ、 別川製作所、 ユーコム、 福島印刷、 北陸電力、 JR 西日本、 ANA コンポーネントテクニクス、 オムロン、 高山リード、 YKK、 ダイキン工業、 セイコーエプソン、 国立病院機構、 国立国会図書館 ほか

環境都市工学科

国土交通省、 石川県庁、 金沢市役所、 高岡市役所、 加賀市役所、 白山市役所、 能美市役所、 JR 東海、 JR 西日本、 北陸電力、 中部電力、 関西電力、 NEXCO 中日本、 東京水道サービス、 東京都下水道サービス、 東京ガス、 東邦ガス、 大阪ガス、 NTT インフラネット、 NTT データ北陸、 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋、 中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸、 オリエンタル白石、 IHI インフラシステム、 駒井ハルテック、 首都高技術、 豊蔵組、 熊谷組、 鴻池組、 北川ヒューテック、 大成建設、 清水建設、 西松建設、 名工建設、 NIPPO、 若築建設、 五洋建設、 東洋建設、 東洋設計、 川田建設、 川田工業、 東京コンサルタンツ、 オリジナル設計、 ホクコク地水、 大日本コンサルタンツ、 アルスコンサルタンツ ほか

建築学科

大林組、 鹿島クレス、 技建工業、 鴻池組、 佐藤工業、 ジェイアール東海建設、 JFE シビル、 銭高組、 大鉄工業、 竹中工務店、 辻建設、 東急建設、 トーケン、 戸田建設、 豊蔵組、 フジタ、 丸西組、 日成ビルド工業、 NTT ファシリティーズ、 中部電力、 三機工業、 鈴木管工業、 住友電設、 日本空調北陸、 北菱電興、 三谷産業、 AXS デザイン、 喜多ハウジング、 桐工房、 正栄産業、 大和ハウス工業、 ニューハウス工業、 あい設計、 一粒社ヴォーリズ建築事務所、 さくら構造、 釣谷建築事務所、 日立建設設計、 山岸建築設計事務所、 コイズミ照明、 コマ

ニー、サンテン・コーポレーション、ニッコー、乃村工藝社、YKKAP、大和ライフネクスト、三菱地所コミュニティ、富山県庁、金沢市役所、かほく市役所 ほか

(本科卒業生 進学状況)

大学等 入学年度	平成 30 年度							平成 31 年度					令和 2 年度						
	全 学 科	機 械 工 学 科	電 気 工 学 科	子 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	小 計	機 械 工 学 科	電 気 工 学 科	子 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	小 計	機 械 工 学 科	電 気 工 学 科	子 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	小 計
石川 高専 専攻 科	2 9 5	4	5	9	3	5	2 6	5	4	7	5	5	2 6	5	6	4	2	5	2 2

金沢大学	1 2 8	3	1		1		5	3		3	1		7	1		1			2
富山大学	2 8							2	1				3			1			1
福井大学	2 9			1		1	2					1	1		1			1	2
北海道大学	6								1				1		1	1			2
東北大学	7									1			1						
筑波大学	2 2		1	1			2		1	1			2		1	1			2
千葉大学	2 4			1	1	1	3						1	1				1	1

東京大学	1														1				1
東京農工大学	5	2					2	1					1	2					2
東京工業大学	4															1			1
お茶の水女子大学	2																		
電気通信大学	1 4		1	2			3	1					1			1			1
横浜	1										2		2						

豊橋技術科学大学	7 6	4	3	4	2	1	1 4	2	3	4	2	4	1 5	4	4	1	1	1 0
三重大学	7				1		1											
京都大学	1																	
京都工芸繊維大学	2											1	1					
大阪大学	8																	
神戸大学	1								1				1					

奈良女子大学	3																	
広島大学	3																	
九州大学																1		1
東京都立大学	5					1	1											
京都府立大学	2					1	1											
立命館大学	17		1				1						1			1		2

そ の 他	7 9	1	1	1		3	6			1		1	2		1	2	1	3	7
計	8 4 2	1 8	1 9	1 9	8	1 3	7 7	1 3	1 5	1 8	1 0	1 6	7 2	16	1 7	1 8	4	1 1	6 6

(専攻科修了生の進路状況)

おもな就職先一覧

電子機械工学専攻

アール・ビー・コントロールズ, アルプス技研, 石川県警, EIZO, NTT データ北陸, NTT ファシリティーズ関西, 金沢村田製作所, 金沢エンジニアリングシステムズ, 川崎重工業, 京セラコミュニケーションシステム, コスモサミット, コマツ産機, 小松製作所(コマツ) 栗津工場, サイオステクノロジー, 資生堂, 高松機械工業, 津田駒工業, ドコモ・システムズ, 中村留精密工業, ナブステコ, 日揮, PFU, 福島印刷, 北陸電気保安協会, 北陸電力, 三菱電機ビルテクノサービス, 楽天, リコーITソリューションズ

環境建設工学専攻

あい設計, アルスコンサルタンツ, 石川県庁, NTT インフラネット, NTT ファシリティーズ関西, 大林組, 鹿島建設, 金沢市役所, 国土交通省, 三機工業, 銭高組, 大成建設, 大成ロテック, 大和ハウス工業, 富山県庁, 飛島建設, 北陸電力

おもな進学先一覧

金沢大学大学院, 北陸先端科学技術大学院大学, 富山大学大学院, 福井大学大学院, 筑波大学大学院, 東京大学大学院, 東京工業大学大学院, 電気通信大学大学院, 長岡技術科学大学大学院, 名古屋工業大学大学院, 豊橋技術科学大学大学院, 神戸大学大学院